

平成30年度 技術科 第1学年 学習指導・評価計画

1. 技術科の学習指導のねらいおよび目標 私たちが活用している技術を理解し、適切な方法で作成、活用できる力を育むため、今年度は材料と加工に関する知識の習得と木材材料の加工、生物育成に関する知識の習得と生物の適切な管理作業、および情報に関する知識の習得と技術デジタル作品の製作を行います。
2. 技術の学習で大切なこと 作品に創意工夫を加えるとともに、計画性を持って製作にあたってください。また、知識を身につけ、理解してください。
3. 思考力・判断力・表現力を高めるには 授業内でワークシートを配布しますので、説明された板書はもとより、自分で気づいた事を書き留め、作品に反映してください。
4. 家庭学習の進め方 作品のデザイン等、家庭学習の時間のある中で考えるとよいものが浮かびます。時間をとって製作活動に励んでみてください。
5. 評価について 作品の進行、創意工夫、完成度に加えて、定期考査の結果やワークシート等への取り組みおよび生物の観察記録等を評価対象とします。

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
興味・関心・態度	生活や技術について関心を持ち、生活の充実向上にむけて実践する。
工夫し、想像する能力	生活を見直し、課題を見つけ解決を目指して工夫し想像している。
生活の技能	生活に必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。
知識・理解	生活や技術に関する基礎的基本的な知識を身につけ、理解している。

◇年間指導（学習）・評価計画（35時間）

学期	月	領域 単元	学習内容	評価の観点	評価規準または 基準	評価の方法 評価材料
一 学 期 (4 / 6 / 7 / 2 0)	4	材 料 と 加 工 に 関 す る 技 術	木材材料による作 品製作(12)	ワークシート 等への取り組 み	木材の材料としての性質 を理解する。	ワークシート への取り組み
	5		木材を材料に棚を 製作し、木材の性質 を理解するととも に生活の中で生か す。	作品のデザイ ン	製作図をもとにして、部品 加工及び仕上げができる ようにする。	製作品の進度 工程表の記入
	6			作品の進度と 技術	工具の正しい名称と使用 法を理解する。	定期考査
	7			工具の名称、 使い方 工程の理解	正しい工程を理解する。	

二学期 (7/21/12/25)	9 10	材料と加工に関する技術	<p>木材材料による作品製作(8)</p> <p>木材を材料に棚を製作し、木材の性質を理解するとともに生活の中で生かす。</p>	<p>ワークシート等への取り組み</p> <p>作品の進捗と技術</p> <p>工具の名称、使い方 工程の理解</p>	<p>木材の材料としての性質を理解する。</p> <p>製作図をもとにして、部品加工及び仕上げができるようにする。</p> <p>工具の正しい名称と使用方法を理解する。</p> <p>正しい工程を理解する。</p>	<p>ワークシートへの取り組み</p> <p>製作品の進捗</p> <p>工程表の記入</p> <p>定期考査</p>
	11 12	情報に関する技術	デジタル作品の設計と製作(6)	<p>ワークシート等への取り組み</p> <p>作品のデザイン</p> <p>作品の進捗と技術</p>	<p>情報に関する技術に関わる倫理観を身につけ、知的財産を想像・活用しようとしている。</p> <p>作品に適したデジタル化の方法などを決定している。</p> <p>設計に基づき、表現や発信ができる。</p> <p>適切な利用方法を理解している。</p>	<p>ワークシートへの取り組み</p> <p>製作品の進捗</p> <p>工程表の記入</p> <p>定期考査</p>
三学期 (12/26/3/23)	1 2 3	情報に関する技術	デジタル作品の設計と製作(7)	<p>ワークシート等への取り組み</p> <p>作品のデザイン</p> <p>作品の進捗と技術</p>	<p>情報に関する技術に関わる倫理観を身につけ、知的財産を想像・活用しようとしている。</p> <p>作品に適したデジタル化の方法などを決定している。</p> <p>設計に基づき、表現や発信ができる。</p> <p>適切な利用方法を理解している。</p>	<p>ワークシートへの取り組み</p> <p>製作品の進捗</p> <p>工程表の記入</p> <p>定期考査</p>
			情報通信ネットワークと情報モラル(2)	ワークシート等への取り組み	<p>情報に関する技術を適切に活用しようとしている。</p> <p>目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫している。</p>	<p>ワークシートへの取り組み</p> <p>定期考査</p>

平成30年度 技術科 第2学年 学習指導・評価計画

1. 技術科の学習指導のねらいおよび目標 私たちが活用している技術を理解し、適切な方法で作成、活用できる力を育むため、今年度はエネルギー変換に関する知識の習得と作品製作、および情報に関する知識の習得とデジタル作品の製作を行います。
2. 技術の学習で大切なこと 作品に創意工夫を加えるとともに、計画性を持って製作にあたってください。また、知識を身につけ、理解してください。
3. 思考力・判断力・表現力を高めるには 授業内でワークシートを配布しますので、説明された板書はもとより、自分で気づいた事を書き留め、作品に反映してください。
4. 家庭学習の進め方 職場体験に出かけるにあたり、課題を持って参加してください。体験中や体験後に課題が解決できるような学習を自ら行い、表現してください。
5. 評価について 作品の進行、創意工夫、完成度に加えて、定期考査の結果やワークシート等への取り組みを評価対象とします。

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
興味・関心・態度	生活や技術について関心を持ち、生活の充実向上にむけて実践する。
工夫し、想像する能力	生活を見直し、課題を見つけ解決を目指して工夫し想像している。
生活の技能	生活に必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。
知識・理解	生活や技術に関する基礎的基本的な知識を身につけ、理解している。

◇年間指導（学習）・評価計画

学期	月	領域 単元	学習内容	評価の観点	評価規準または 基準	評価の方法 評価材料
一 学 期 (4 / 6 / 7 / 2 0)	4	エ ネ ル ギ ー 変 換 に 関 す る 技 術	エ ネ ル ギ ー 変 換 に 関 す る 技 術 を 理 解 し、 こ れ を 利 用 し た 製 品 の 製 作 を 行 う。 (1 2)	ワークシート 等への取り組み	エネルギー変換に関する 知識を理解する。	ワークシート への取り組み
	5			作品のデザイン	製作図をもとにして、部品 加工及び仕上げができる ようにする。	製作品の進捗
	6			作品の進捗と 技術	工具の正しい名称と使用 法を理解する。	工程表の記入
	7			工具の名称、 使い方 工程の理解	正しい工程を理解する。	定期考査

<p>二学期 (7/21~12/25)</p>	<p>8 9 10 11 12</p>	<p>エ情報に ネ報に ギ関 一す 変る 換技 に術 関 する 技術</p>	<p>デジタル作品の 設計と製作 (9)</p> <p>エネルギー変換に 関する技術を理解 し、これを利用した 製品の製作を行う。 (6)</p>	<p>ワークシート 等への取り組み 作品のデザイン 作品の進捗と 技術</p>	<p>情報に関する技術に関わ る倫理観を身につけ、知的 財産を想像・活用しようと している。</p> <p>作品に適したデジタル 化の方法などを決定して いる。</p> <p>設計に基づき、表現や発信 ができる。</p> <p>適切な利用方法を理解し ている。</p> <p>製作図をもとにして、部品 加工及び仕上げができる ようにする。</p>	<p>ワークシート への取り組み 製作品の進捗 工程表の記入 定期考査</p>
<p>三学期 (12/26~3/23)</p>	<p>1 2 3</p>	<p>情報に 関 する 技術</p>	<p>エネルギー変換に 関する技術を理解 し、これを利用した 製品の製作を行う。 (6)</p> <p>情報通信ネットワ ークと情報モラル (2)</p>	<p>ワークシート 等への取り組み 作品のデザイン 作品の進捗と 技術</p>	<p>製作図をもとにして、部品 加工及び仕上げができる ようにする。</p> <p>情報に関する技術を適切 に活用しようとしている。</p> <p>目的や条件に応じて情報 処理の手順を工夫してい る。</p>	<p>ワークシート への取り組み 製作品の進捗 工程表の記入 定期考査</p>

平成30年度 技術科 第3学年 学習指導・評価計画

1. 技術科の学習指導のねらいおよび目標 私たちが活用している技術を理解し、適切な方法で作成、活用できる力を育むため、今年度は材料と加工に関する知識の習得と金属材料の加工、および情報に関する知識の習得と技術デジタル作品の製作を行います。
2. 技術の学習で大切なこと 作品に創意工夫を加えるとともに、計画性を持って製作にあたってください。また、知識を身につけ、理解してください。
3. 思考力・判断力・表現力を高めるには 授業内でワークシートを配布しますので、説明された板書はもとより、自分で気づいた事を書き留め、作品に反映してください。
4. 家庭学習の進め方 修学旅行に出かけるにあたり、課題を持って参加してください。旅行中や旅行後に課題が解決できるような学習を自ら行い、表現してください。
5. 評価について 作品の進行、創意工夫、完成度に加えて、定期考査の結果やワークシート等への取り組みを評価対象とします。

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
興味・関心・態度	生活や技術について関心を持ち、生活の充実向上にむけて実践する。
工夫し、想像する能力	生活を見直し、課題を見つけ解決を目指して工夫し想像している。
生活の技能	生活に必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。
知識・理解	生活や技術に関する基礎的基本的な知識を身につけ、理解している。

◇年間指導（学習）・評価計画（17～18時間）

学期	月	領域 単元	学習内容	評価の観点	評価規準または 基準	評価の方法 評価材料
一 学 期 (4 / 6 / 7 / 2 0)	4	材 料 と 加 工 に 関 す る 技 術	金属材料による作品製作	ワークシート等への取り組み	金属の材料としての性質を理解する。	ワークシートへの取り組み
	5		黄銅を材料にキーホルダーを製作し、金属の性質を理解するとともに生活の中で生かす。(6)	作品のデザイン	製作図をもとにして、部品加工及び仕上げができるようにする。	製作品の進捗
	6			作品の進捗と技術	工具の正しい名称と使用方法を理解する。	工程表の記入
	7			工具の名称、使い方 工程の理解	正しい工程を理解する。	定期考査

<p>一学期 (7/21～12/25)</p>	<p>7 8 9 10 11 12</p>	<p>情報に関する技術</p>	<p>デジタル作品の設計と製作(8)</p>	<p>ワークシート等への取り組み 作品のデザイン 作品の進捗と技術</p>	<p>情報に関する技術に関わる倫理観を身につけ、知的財産を想像・活用しようとしている。 作品に適したデジタル化の方法などを決定している。 設計に基づき、表現や発信ができる。 適切な利用方法を理解している。</p>	<p>ワークシートへの取り組み 製作品の進捗 工程表の記入 定期考査</p>
<p>三学期 (12/26～3/23)</p>	<p>1 2 3</p>	<p>情報に関する技術</p>	<p>情報通信ネットワークと情報モラル(2) プログラムによる計測制御(2)</p>	<p>ワークシート等への取り組み</p>	<p>情報に関する技術を適切に活用しようとしている。 目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫している。 簡単なプログラムを理解できる。 計測、制御の基礎知識を身につけている。</p>	<p>ワークシートへの取り組み</p>